



◆ 栃木県冬春トマトグランプリ表彰式・栃木トマト産地改革研究会を開催



8月5日(月)に栃木県庁講堂で、第12回栃木県冬春トマトグランプリ表彰式を開催し、生産者及び関係者約120名が参加しました。

今年度のグランプリは、トマト生産技術の交流を積極的に推進し、栽培意欲の高揚と栽培技術の改善及び高品質生産を目的に促成栽培の部として開催しました。予備審査を経て、出品された8点の中から、大賞並びに農林水産大臣賞を J A おやまの篠田安彦さん、博美さんご夫妻が受賞しました。

特に、上位入賞したほ場は、2回の立毛審査会において、いずれも草勢バランスが安定しており、果実は低段花房から上段花房でよく揃って肥大しており、空洞果や乱形果等の不良果も少なく、さらにほ場環境も整っていることから、まさに受賞にふさわしい素晴らしいほ場が上位入賞を果たしました。

表彰式後の栃木トマト産地改革研究会では、千葉大学の丸尾達教授から「トマト栽培における I C T 技術を活用した総合環境制御の可能性」について講演をいただきました。丸尾教授から、農業人口の急速な減少に対応するためには、ある程度の規模拡大・集約化・分業化が必要であること、「省人化・労働生産性向上」がキーワードとなり育種を含めた総合的な工程管理の検討が重要であり、変化を恐れない危機に対応する人材養成について講演を行いました。

施設野菜生産者にとっては興味深い講演内容であり、実証データなどに関する質問が数多く寄せられました。



◆ 第13回いちご王国グランプリ表彰式

並びにいちご王国推進会議の開催

第13回いちご王国グランプリの表彰式が、8月20日(火)栃木県庁 東館講堂にて、生産者及び関係者約130名が参加して行われました。グランプリは生産技術の交流を推進し、栽培技術の改善と品質向上・生産意欲の高揚を目的として行われるもので、予備審査を経て、出展された12点の中から大賞ならびに農林水産大臣賞を J A うつのみやの杉山和敏さん、起佐子さんが受賞しました。大賞に輝きましたほ場は、温度管理・早期防除を強く意識した管理が徹底され、株揃いが良く花房の連続性があり、着果数・果実肥大にも優れ、高い単収(9.3t/10a)を実現するなど素晴らしい立毛でありました。また大賞の他にも金賞5点、銀賞6点を選定し、いずれも出展者の日々の努力の積み重ねや、高い技術力が感じられ、優劣つけがたいものが有りました。



表彰式後のいちご王国推進会議では、「光合成を高めるための環境制御技術について」株式会社デルフィージャパン ホーティカルチャースペシャリスト 斉藤 章 氏から、環境制御で成果を得るための5ステップとして講演があり、講演内容に関する質問等、本県産いちごの更なる発展に役立つ内容に参加者が耳を傾けました。



栃木県いちご生産連絡協議会設立について

8月7日(水)、「スカイベリー生産連絡協議会(系統外)」と「夏秋いちご連絡協議会」が統合して、「栃木県いちご生産連絡協議会」(会員数約200名)が設立されました。

これは各品種(スカイベリー、なつおとめ、白いちご)を作付けする生産者と組織を統合し、効率的な事業運営を目指すためです。今後、設立となった協議会のもと、現地検討会・講習会等開催し、品質向上・ブランド確立に努力してまいります。



こんにゃくの作況調査を実施

とちぎの特産物「こんにゃく」について、8月9日(金)に令和元年度第1回目の作況調査を実施しました。(茂木町、鹿沼市)いずれの産地とも、植付日は平年並みであり、適度な降雨もあり出芽も平年並でした。開葉は、平年並か、または低温や日照不足により平年よりやや遅れました。7月の梅雨明け以降は、まとまった降水が無くほ場が乾燥気味で、一部で立ち枯れが散見されました。新球茎肥大倍率は、品種「あかぎおおだま」は前年および平年並であったが、「みやまさり」は下回りました。地上部の生育は、いずれも前年および平年を下回りました。

今後、9月・10月に2回目・3回目の調査を実施する予定です。



りんどう研究会視察研修会の実施



8月22日(木)~23日(金)にかけて、群馬県吾妻郡高山村のりんどう生産圃場2カ所の視察研修を実施し、会員および関係機関18名が参加しました。

最初の圃場生産者は、30品種ほどのりんどうと数種類の宿根草類を組合わせた栽培を行っており、出荷時期が5~11月と作業負荷およびリスクを分散する経営を行っていました。

次の圃場生産者は、19品種のりんどう栽培を行っており、花き日持ち品質管理認証制度(MPS)の取得、半促成栽培による出荷、オリジナル品種の育成、インターネットや先進生産者等から様々な情報を入手し試行して取り入れる等、前向きに挑戦する生産者でありました。茎がまっすぐ伸びるための仕切り糸の仕掛け等についても紹介がありました。

小雨が降る中にもかかわらず、熱心な情報交換が行なわれ有意義な視察研修となりました。



球根切花研究会総会開催

8月27日(火)宇都宮市内にて平成30年度球根切花研究会総会を実施しました。会員および関係機関18名が出席し、平成30年度の事業報告・決算報告及び令和元年度の事業計画・収支予算が審議され承認されました。



トルコギキョウ研究会総会開催

8月28日(水)、J A 足利経営プラザにて平成30年度トルコギキョウ研究会総会を実施しました。会員および関係機関22名が出席し、平成30年度の事業報告・決算報告及び令和元年度の事業計画・収支予算が審議され承認されました。また、役員の一部改選についても承認されました。

総会終了後、株式会社誠和 若菜氏による「炭酸ガス施用について」と題した研修会を行いました。



夏秋いちご「なつおとめ」現地検討会開催

8月30日(金)、那須町の畠山奈々子氏の圃場におきまして、栃木県いちご生産連絡協議会の主催で、「なつおとめ」現地検討会が開催されました。栃木県から畠山氏の栽培概要と夏秋いちご供給拡大支援事業(県単)の説明のほか、現地圃場にて会員同士の熱心な情報交換が行われました。



とちぎグルメスタンプラリーキャンペーン

県外の飲食店「とちぎ和牛提供店」「とちぎの旬彩店」の対象店舗にて、とちぎグルメが当たる「とちぎグルメスタンプラリー」を開催しています。参加は簡単、対象店舗にてスマホQRコードでアクセスするとGPSで判断し、スタンプがプレゼントされます。

ぜひ、抽選で「とちぎ和牛」や「とちぎの旬の野菜」などが当たるキャンペーンに、スタンプを集めてご応募ください。

応募期間

第1弾 2019. 6. 30(日) ~ 9. 30(月)

第2弾 2019. 10. 1(火) ~ 11. 30(土)



QRコード



とちぎのおにぎりスター誕生！(おにぎり”コンテスト)開催

高校生や大学生など若い世代を対象に、おにぎりコンテストを開催し、栃木県産米オリジナル品種「なすひかり」「とちぎの星」の品質の良さや良食味を実感してもらうことにより、栃木県産米の認知度向上及びイメージアップに繋がります。

また、飲食店や小売店・百貨店・スーパー等での商品化に向けて、最終審査会には、飲食店にも審査員として参加を募るとともに、キャンペーン等を開催し、“とちぎのおにぎり”スターを広く紹介し周知を図ります。



とちぎ米-1コンテスト 出品募集のお知らせ

実力ある「とちぎ米」の消費拡大と更なる品質・食味向上及び、生産意欲の高揚を図るために開催します。

栃木県産の「コシヒカリ」「なすひかり」「とちぎの星」の3部門で県内に居住している生産者等を対象に募集します。(申込期間：8月1日～9月20日)
申込方法、提出物等その他詳しい内容については

(一社)とちぎ農産物マーケティング協会
「とちぎ米-1コンテスト2019」事務局 まで
TEL:028-616-8787 FAX:028-616-8715

主催 一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会
共催 栃木県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会栃木県本部
栃木県食糧集荷協同組合、公益社団法人栃木県米麦改良協会
後援 栃木県
協力 静岡製機株式会社



—新規とちぎの地産地消推進店—



店舗名	住所	電話番号 HP	代表者
友蕎庵	益子町七井2402-2	0285-81-7211	店長 鈴木 幸一
ステーキ&ワイン 存じやす	宇都宮市中央5丁目9-2	028-636-8701 https://zonjiyasu.com	料理長 小林 史知



◆◆◆◆◆ 9月の予定 ◆◆◆◆◆



5日(木) 栃木県カーネーション研究会総会 (さくら市)
10日(火) こんにゃく部会立毛共進会 (鹿沼市)
11日(水) " (JAなす南)
13日(金) こんにゃく作況調査 (鹿沼市・茂木町)
14日(土) とちぎの食材でライブキッチン (シーライン東京)
17日(火) スーパーコーチ派遣事業 (県庁)
18日(水) "
20日(金) "
24日(火) "



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (令和元年9月発行)

TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715

<http://www.tochigipower.com/> ☞ 「カラダにとちぎ」で検索